

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第6週の発生動向

全数報告の感染症（6週までに新たに届出のあったもの）

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核 8例。3類感染症：報告なし。
- 4類感染症：報告なし。5類感染症：報告なし。

疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類 結核	宮崎市	30歳代	男	無症状病原体保有者	—
		30歳代	男	無症状病原体保有者	—
		40歳代	女	肺結核	咳、痰
		50歳代	男	肺結核	咳
		70歳代	女	無症状病原体保有者	—
		90歳代	男	結核性胸膜炎	発熱、胸痛、胸水貯留
	日南	90歳代	男	疑似症患者	咳、痰、発熱
	日向	80歳代	男	肺結核	咳、痰、呼吸困難

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は2,087人(定点あたり42.2)で、前週比63%と減少した。前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症と咽頭結膜熱で、減少した疾患はインフルエンザであった。

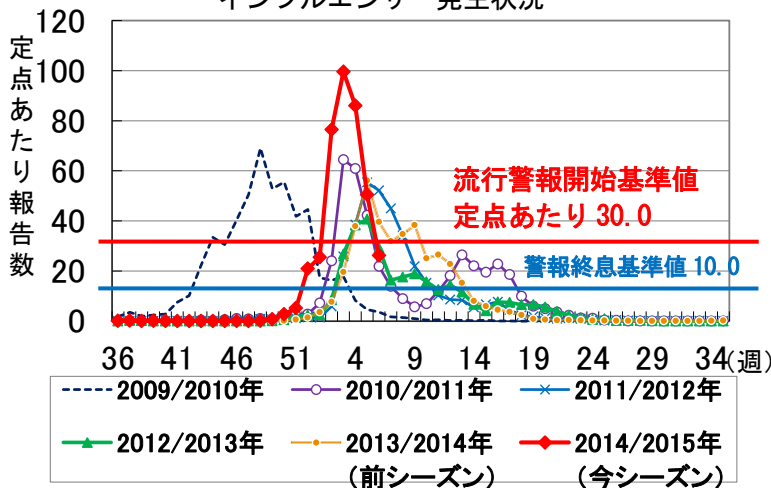
★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

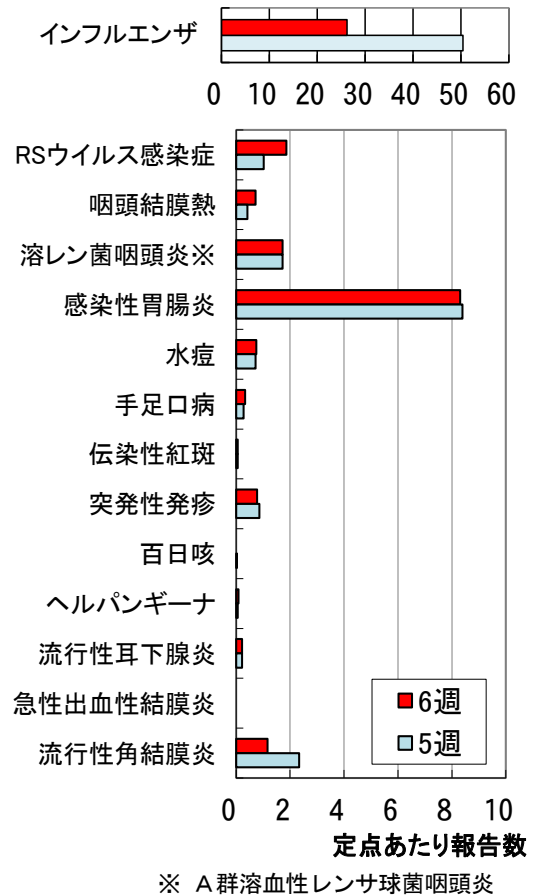
・報告数は1,546人(26.2)で、前週比52%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(37.0)の約0.7倍であった。延岡(33.9)、日南(30.0)保健所からの報告が多く、年齢別では5歳未満が全体の28%、5-9歳が32%、10-14歳が17%、15-19歳が3%、20-59歳が15%、60歳以上が5%を占めた。

* 過去4年間の当該週、前週、後週(計12週)の平均値

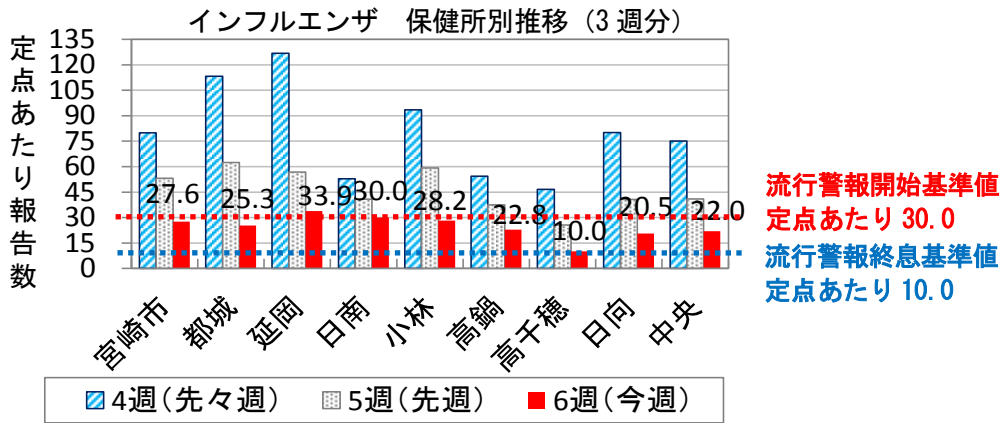
インフルエンザ 発生状況



《前週との比較》



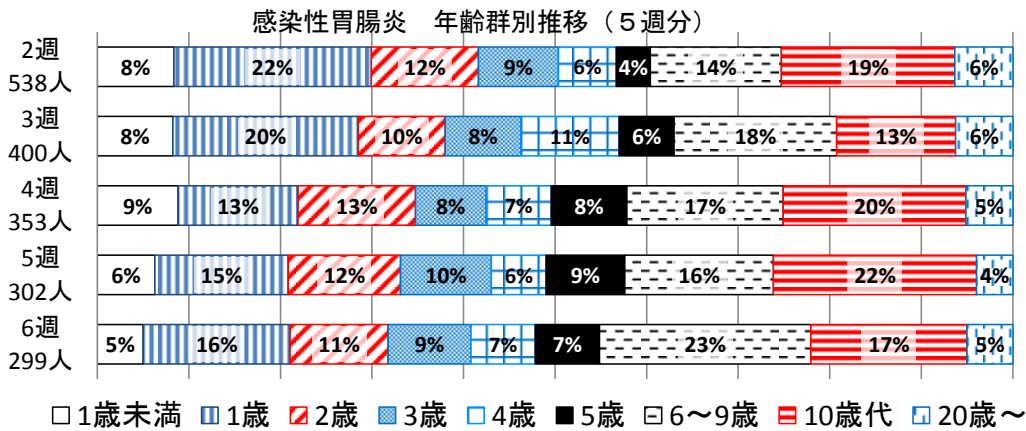
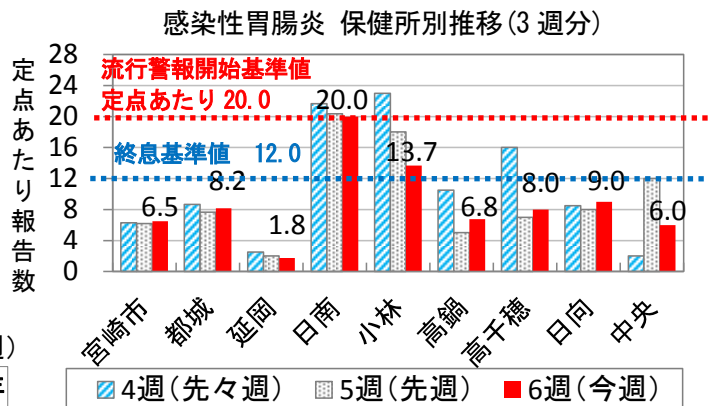
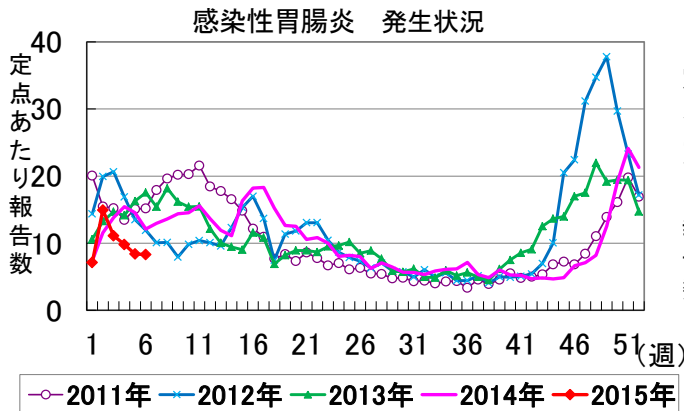
※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



【感染性胃腸炎】

・報告数は 299 人 (8.3) で前週比 99% とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点あたり平均値* (15.6) の約 0.5 倍であった。日南 (20.0) 保健所からの報告が多く、年齢別割合の推移をグラフに示す。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値



★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(27.6)
都城	インフルエンザ(25.3)
延岡	インフルエンザ(33.9)
日南	インフルエンザ(30.0)、咽頭結膜熱(3.0)、感染性胃腸炎(20.0)
小林	インフルエンザ(28.2)
高鍋	インフルエンザ(22.8)
高千穂	インフルエンザ(10.0)
日向	インフルエンザ(20.5)
中央	インフルエンザ(22.0)

* 流行警報レベル開始基準値*

・インフルエンザ(30.0)

・咽頭結膜熱(3.0)

・感染性胃腸炎(20.0)

* 流行注意報レベル基準値*

・インフルエンザ(10.0)

□ 病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 平成 27 年 2 月 9 日までに検出）

★細菌

報告なし。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取月日	臨床症状 等	材料	検出日
インフルエンザ AH3 型	10 歳代	男	2015.1.17	インフルエンザ A, 38.1℃、上気道炎	鼻汁	2015.1.27
インフルエンザ AH3 型	5～9 歳	男	2015.1.19	インフルエンザ A, 38.3℃、上気道炎	鼻汁	2015.1.27
インフルエンザ AH3 型	5～9 歳	女	2015.1.19	インフルエンザ A, 37.9℃	鼻汁	2015.1.27
インフルエンザ AH3 型	5～9 歳	男	2015.1.19	インフルエンザ A,B, 39.4℃	鼻汁	2015.1.27
インフルエンザ AH3 型	0～4 歳	女	2015.1.19	インフルエンザ A, 38.0℃、上気道炎	鼻汁	2015.1.27
インフルエンザ AH3 型	0～4 歳	女	2015.1.19	インフルエンザ A, 38.2℃、上気道炎	鼻汁	2015.1.27
インフルエンザ AH3 型	10 歳代	男	2015.1.21	インフルエンザ A, 37.6℃	鼻汁	2015.1.27
インフルエンザ AH1pdm09 型	0～4 歳	女	2015.1.26	インフルエンザ A, 40.0、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2015.1.27
RSウイルス	0～4 歳	男	2015.1.21	細気管支炎、下気道炎、喘息、 低酸素血症	咽頭ぬぐい液	2015.2.6
RSウイルス	0～4 歳	男	2015.1.26	RSウイルス細気管支炎、38.0℃、 下気道炎、喘息	咽頭ぬぐい液	2015.2.6
RSウイルス ライノウイルス	0～4 歳	男	2015.1.29	RSウイルス細気管支炎、下気道炎、 喘息	咽頭ぬぐい液	2015.2.6
ヒトメタニューモウイルス	0～4 歳	男	2015.1.25	肺炎、百日咳、41.0℃、下気道炎	咽頭ぬぐい液	2015.2.6

○インフルエンザ A 型と診断された小児 6 名とインフルエンザ A,B 型と診断された小児 1 名からインフルエンザ AH3 型が検出された。また、インフルエンザ A と診断された小児 1 名からインフルエンザ AH1pdm09 型が検出された。当所でのインフルエンザ AH1pdm09 型の検出は今シーズン初めてである。

○細気管支炎と診断された乳児 2 名から RS ウイルス、1 名から RS ウイルスとライノウイルスが検出された。

○肺炎と診断された幼児 1 名からヒトメタニューモウイルスが検出された。ヒトメタニューモウイルスは小児の呼吸器感染症の原因ウイルスで、3 月から 6 月にかけて多くみられる。当所では 2014 年 3 月に 1 件検出されて以来、10 ヶ月ぶりの検出である。今後、RS ウイルス、ライノウイルスを含めた呼吸器感染症ウイルスの動向に注意したい。

📊 全国第 5 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 5 週）

1 類感染症	報告なし				
2 類感染症	結核	309 例			
3 類感染症	コレラ	1 例	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症 11 例
4 類感染症	E 型肝炎	5 例	A 型肝炎	6 例	重症熱性血小板減少症候群 1 例
	つつが虫病	4 例	デング熱	2 例	ブルセラ症 1 例
	レジオネラ症	20 例			
5 類感染症	アメーバ赤痢	14 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症 10 例
	急性脳炎	12 例	クリプトスポリジウム症	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病 2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	12 例	後天性免疫不全症候群	14 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	30 例	水痘（入院例） 2 例
	梅毒	28 例	播種性クリプトコックス症	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例
	風しん	1 例			

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関あたりの患者報告総数は前週比 80% と減少した。今週増加した主な疾患は手足口病と流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

インフルエンザの報告数は 144,063 人(29.1)で、前週比 74% と減少した。大分県(58.5)、鹿児島県(53.1)、山口県(51.7)からの報告が多く、年齢別では 5 歳未満が全体の約 19%、5～9 歳が 33%、10～14 歳が 20%、15～19 歳が 4%、20～59 歳が 18%、60 歳以上が 6% を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2015年 第6週(2月2日～2月8日)

疾病名		第5週	第6週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2973	1546	441	253	237	150	141	137	20	123	44
	定点あたり	50.39	26.20	27.56	25.30	33.86	30.00	28.20	22.83	10.00	20.50	22.00
RSウイルス 感染症	報告数	37	67	18	8	10			16		13	2
	定点あたり	1.03	1.86	1.80	1.33	2.50	0.00	0.00	4.00	0.00	3.25	2.00
咽頭結膜熱	報告数	15	26	3	2	4	9		1	1	6	
	定点あたり	0.42	0.72	0.30	0.33	1.00	3.00	0.00	0.25	1.00	1.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	62	62	18	4	13	4		10		10	3
	定点あたり	1.72	1.72	1.80	0.67	3.25	1.33	0.00	2.50	0.00	2.50	3.00
感染性胃腸炎	報告数	302	299	65	49	7	60	41	27	8	36	6
	定点あたり	8.39	8.31	6.50	8.17	1.75	20.00	13.67	6.75	8.00	9.00	6.00
水痘	報告数	26	27	9		11			1		6	
	定点あたり	0.72	0.75	0.90	0.00	2.75	0.00	0.00	0.25	0.00	1.50	0.00
手足口病	報告数	10	12	2	3	1	1				5	
	定点あたり	0.28	0.33	0.20	0.50	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	1.25	0.00
伝染性紅斑	報告数	2	2		1					1		
	定点あたり	0.06	0.06	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	31	28	9	2	5	4	3	3	1	1	
	定点あたり	0.86	0.78	0.90	0.33	1.25	1.33	1.00	0.75	1.00	0.25	0.00
百日咳	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	2	3	2		1						
	定点あたり	0.06	0.08	0.20	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	8	8	2	4	1					1	
	定点あたり	0.22	0.22	0.20	0.67	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	14	7	6		1						
	定点あたり	2.33	1.17	2.00	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	2										
	定点あたり	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点: 59、小児科定点: 36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点: 6、基幹定点: 7

上段: 報告数
下段: 定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2015年第1週～6週)

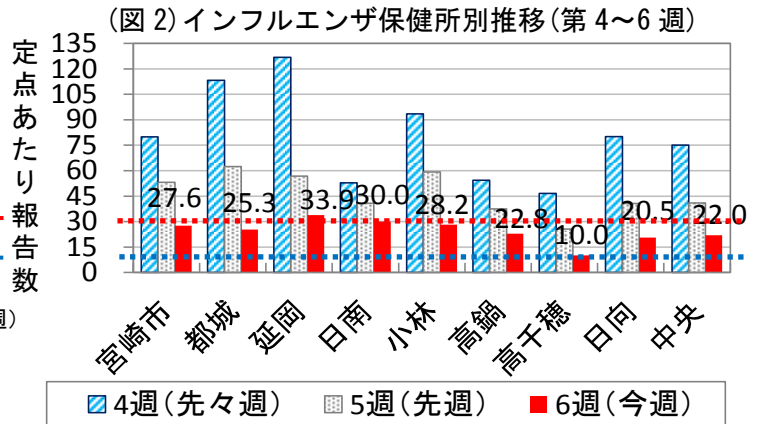
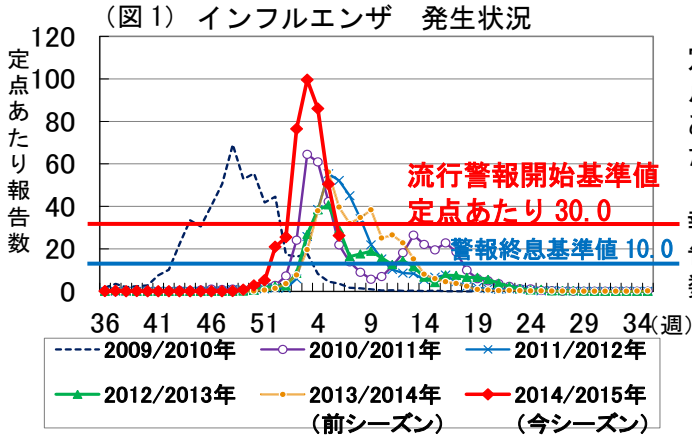
2類感染症	結核	29例(8)				
4類感染症	つつが虫病	3例				
5類感染症	急性脳炎	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	2例	播種性クリプトコックス症	1例
	破傷風	1例				

()内は今週届出分、再掲

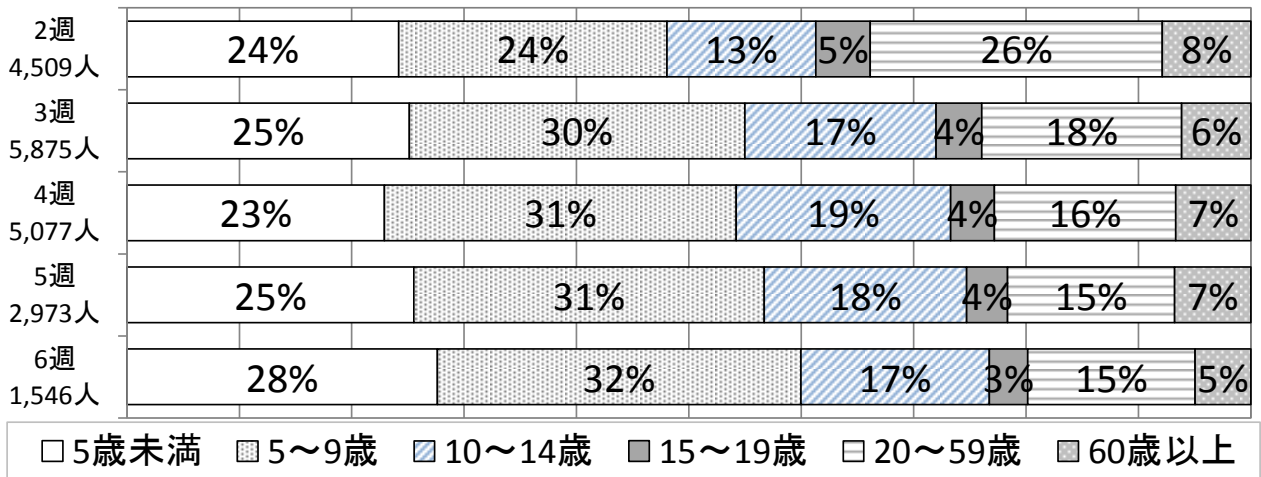
インフルエンザ情報 《県内第6週、全国第5週（再掲）》

□ 県内第6週インフルエンザ発生動向

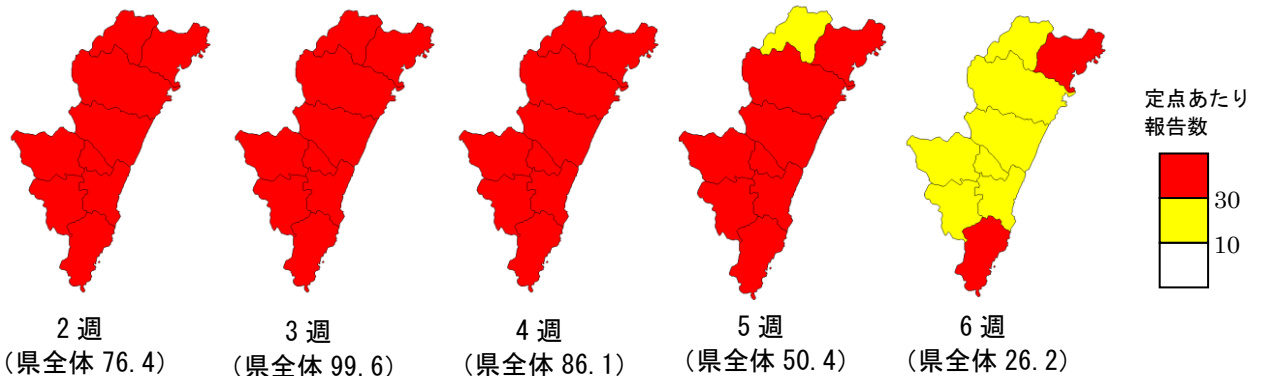
2015年2月2日～2月8日までの1週間で1,546人（定点あたり26.2）の報告があり、前週の約0.5倍に減少した（図1）。例年同時期の定点あたり平均値（37.0）の約0.7倍であった。保健所別報告数を（図2）、年齢群別報告数の割合の推移を（図3）に示す。



(図3) 年齢群別割合の推移(第2～6週)



保健所別インフルエンザ警報・注意報レベル状況 第2～6週



□ 全国第5週インフルエンザ発生動向

2015年1月26日～2月1日までの1週間で144,063人（29.1）の報告があり前週比74%と減少した。大分県（58.5）、鹿児島県（53.1）、山口県（51.7）からの報告が多く、20県で流行警報レベル開始基準値（30.0）を超えている。年齢別では5歳未満が全体の約19%、5～9歳が33%、10～14歳が20%、15～19歳が4%、20～59歳が18%、60歳以上が6%を占めた。